

公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

2024 年度 総会・連携会議 議事録

1. 本年度の総会・連携会議の形態について

2024 年度の公大協の総会と連携会議は、2023 年度と同じく、動画で作成し、会員・連携会議構成団体に配信することとした。2025 年からは、対面形式とし、日本心理学会大会期間中に実施することとした。

2. 報告事項

昨年度の総会（2023 年 9 月）から 2024 年 8 月までの公大協の活動を報告した。

2023 年

8 月 25 日 公大協の運営会議が開催されました

8 月 25 日 公大協 2023 年度総会・連携会議が開催されました（録画配信）

9 月 14 日～17 日 日本心理学会第 87 回大会（神戸国際会議場）において、公大協設立 5 周年記念シンポジウム「質の高い公認心理師を育てる大学院制度をめざして」が開催されました（日本心理学会との共催）。

公認心理師制度推進室から公認心理師専門官吉橋実里氏に話題提供いただきました。

9 月 メールマガジン第 5 巻 1 号配信しました。

10 月 厚生労働省の公認心理師就労調査（日本心理研修センター）に公大協として協力しました

10 月 令和 5 年度公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会（国立精神・神経医療研究センター病院）に公大協が協力しました（企画委員会への参加）

2024 年

3 月 31 日 2023 年度公大協年報を発行し、ホームページで公表しました。

4 月 19 日 一般社団法人心理研修センター（後に一般財団法人 公認心理師試験研修センターに改称）の説明会に参加しました。

5 月 9 日 厚生労働省公認心理師制度推進室の訪問を受けました。公大協の運営会議メンバー 10 名、公認心理師の会理事会メンバー 10 名が web で参加しました。

5 月 12 日 一般社団法人 公認心理師の会 年次総会（東京大学駒場キャンパス）で公大協共催シンポジウム「公認心理師の大学・大学院・現場での養成の問題点は何か：2024 年度カリキュラム等検討会に向けての取り組み」が開催されました。一般社団法人 公認心理師の会学術雑誌 科学者-実践家モデル第 4 巻に収録（pp. 18-23. 2023.）

5 月 令和 6 年度公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会（国立精神・神経医療研究センター病院）に公大協が協力しました（企画委員会への参加）。8 月 1 日に申込開始。

6 月 4 日 公大協メールマガジン第 6 巻 1 号を配信しました（会員限定）。

8 月 26 日 公大協の運営会議が開催されました。

8 月 26 日 公大協 2024 年度総会・連携会議が開催されました（録画配信）。

9 月 6 日～8 日 日本心理学会第 88 回大会（熊本城ホール）において、公大協シンポジウム「質の高い公認心理師を育てる学部教育のあり方」が開催されました（日本心理学会との共催）。

公認心理師制度推進室から公認心理師専門官内田 舞先生に話題提供いただきました。

3. 今後の活動予定

2025 年

3 月 公大協委員会が改選されます（予定）

3 月 公大協の委員による会長選挙（予定）

3 月 2023 年度年報を作成し、ホームページで公表（予定）

3 月 公大協メールマガジンを配信予定

3 月 日本心理学会「心理学叢書」より「公認心理師になる：これから心理学を学び公認心理師をめざしたい人のために」出版予定

5 月 24 日 一般社団法人 公認心理師の会 年次総会（東京大学駒場キャンパス）で公大協共催シンポジウム「心理実習・心理実践実習の工夫」開催（予定）

9 月 5～7 日 日本心理学会第 89 回大会（東北学院大学五橋キャンパス）において、公大協シンポジウム開催（予定）。

運営会議、総会、連携会議の開催（予定）

3. 委員会報告

昨年度の総会（2023年9月）から現在までの各委員会の活動は次のとおりです。

1) 学部カリキュラム検討委員会（岩原委員長）

a) 2023年度の報告

コンピテンシーに基づくカリキュラムとその教育のあり方の検討

2023年日本心理学会第87回大会での発表（副委員長：有光先生）

b) 2024年度の活動

日本心理学会第88回大会シンポジウムの企画・運営 「質の高い公認心理師を育てる学部教育のあり方」 5年の養成教育を経て、これからの質向上のために・・・ 司会進行（丹野義彦先生） 話題提供 1. 公認心理師の現状と課題（公認心理師制度推進室 内田 舞先生） 2. 学部教育における問題点と改善の在り方（有光興記先生・岩原） 3. 基礎心理学を学ぶことの重要性（平井 啓先生） 4. 統計・研究法の必要性（国里愛彦先生） 5. 卒業論文の必要性（杉浦義典先生） 指定討論 1. 学術的立場からの討論（河原純一郎先生） 2. 臨床実践的立場からの討論（嶋田洋徳先生） 有意義な議論をさせていただき、新たな課題も抽出されました
--

c) 今後の活動予定

・学部でのコンピテンシー教育の在り方

基礎心理学科目群＋卒論で、どのようなコンピテンシーが身につくのか

⇒実践のための知識がどのように教えられているのか・教えるべきなのか

＋基礎心理学が実践に活かされるためにはどうすればよいのか

⇒基礎心理学領域と共存共栄するためにはどうすればよいのか

⇒科目数が増えすぎないようにするためにはどうすればよいのか

＋課程認定というあり方を続けていくべきなのか

学部教育を担当している先生方（基礎心理学の先生を含む）を対象にアンケートをとり、実態調査を行う

（委員会でも内容検討予定）

2) 大学院カリキュラム検討委員会（伊藤副委員長）

a) 前年度に引き続き、大学院カリキュラムについて検討しています。

b) 修士論文や研究の位置づけや、博士後期課程のキャリアパスについて検討する必要がある。

c) アンケート等を実施し、諸問題の現状把握を行う予定です。

3) 現場実習検討委員会（古川委員長）

a) 今年度の報告

①「公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会」企画委員会への参画

⇒古川が企画委員を担当

⇒古川・小関副委員長が「心理演習指導方法論（2.0h）」を担当

②公認心理師の会年次総会での共催シンポジウムへの登壇

③実習ガイドライン（案）の骨子を作成中

④「公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会」のあり方に関する提言

⇒現状、大学内相談室で実習指導を行う際、担当教員コース（34.0h）のみでは不可

⇒「公大協＋公認心理師の会」の合同文書として推進室へ提出するは可能か？ 下記審議事項へ

⑤「公認心理師になる」分担執筆

b) 次年度の計画

①「公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会」企画委員会への参画

②公認心理師の会年次総会での共催シンポジウムへの登壇

③実習ガイドライン骨子（案）の公表

④日本心理学会学術大会「チュートリアルワークショップ」へ申請

⇒実習指導に関するアドバンス研修会「経験学習理論に基づく実習指導」（仮）

⑤日本心理学会学術大会企画シンポジウム「実習演習における特色ある取り組み」（仮）

4) 国家試験検討委員会（国里委員長）

- a) 前年度に引き続き公認心理師試験の問題を検討しています。
- b) 過去の試験問題をテキストデータ化してデータベースにしました。
- c) テキストデータに生成 AI などを活用した検討を行うことを予定しています。

5) 編集委員会（坂本委員長）

- a) 2023 年度の年報を 3 月 31 日付で発行しました。
- b) 本年度もこれまでとほぼ同様のスケジュールで発行を予定しています。
- c) 報告書の内容も例年とほぼ同様、公大協各委員会の活動報告を予定しています。

6) 広報委員会（岡島委員長）

- a) 2024 年 6 月にメールマガジンを発行いたしました。
- b) メールマガジンの年 2 回発行の継続について審議を行い、2024 年度より年 1 回の発行とすることで決まりました。
- c) 今後、広報委員会の活動方法を検討しつつ、会員の皆様に有益な情報発信を考えていきたいと思ひます。

4. 会員・加盟団体の先生方へのお願い

- a) 2025 年 2 月までに各委員会の委員の改正をおこないます。会員の先生方、加盟団体の先生方から新委員の自薦・推薦をいただきます。4 月には全委員を選挙人・被選挙人とする会長選挙おこないます。
- b) 2025 年の総会・連携会議・シンポジウムは、日本心理学会大会（9 月 5～7 日、東北学院大学）の期間中に、対面で開催する予定です。ふるってご参加ください。
- c) 会報のメールマガジンでは、組織会員の各大学における公認心理師養成の取り組みや、加盟団体の各学会における公認心理師についての取り組みについて、紹介しています。記事執筆へのご協力をお願いします。